

ART project

富山水辺の映像祭 2007、2008

富山大学芸術文化学部教授 伊東 順二

「環境」と「平和」という二つの問題をテーマにする「富山水辺の映像祭」はテーマを一にする「長崎水辺の映像祭」と協働する事によって文化面での地方都市間連携という次世代的コンセプトを発信している。組織は互いに大学関係者、学生組織、一般ボランティア、協賛企業で構成されており、富山では富山市が共催者として積極的に参加している。先端的な映像をブロードバンドや携帯における高度な配信技術を用いて地域のコンテンツとして活用するシステムは地方におけるコンテンツ集積と利用を加速するものであり、地上で展開される映像をテーマにしたイベントと相まって先端芸術への理解を浸透させ、未来志向の若者たちの地場定着、コンテンツ産業育成の可能性を広げるものである。

「未来への祈り」をテーマにして、長崎で公募されたコンテンツを富山市で配信した2007年度に続いて、「今、ここにいる」という親近性のあるテーマを採用した2008年度は両映像祭合計250作品ほどの応募があり、両都市が共有するコンテンツ活用の可能性は計り知れない。また、「映像EKIDEN」や「スパイラルとーく」などストーリーミング、デジタル編集などを市民参加型で伝えるワークショップなども開発されており、その多くにおいて自立した学生組織が中心的な役割を果たしている。また、隈研吾、河口洋一郎、明和電機、本木克英、長友啓典など各界を代表するクリエイターも積極的に参加し、次世代人材の育成に貢献している。

本学からは伊東順二教授、西島治樹講師、学生組織FITが参加している。



2007年開催テーマ

with HeArt Nagas

映像祭開催期間

2007年12月18日(火)～2008年12月25日(火)





2008年開催テーマ

今、ここにいる—Think home

映像祭開催期間

2008年11月11日(火)～ 2008年11月16日(日)

aki



会場

富山市 グランドプラザ

主催

富山水辺の映像祭運営事務局

代表 兼 総合プロデューサー 伊東順二

事務局員 富山大学・富山国際大学の学生 他

事務局窓口 富山市 都市再生整備課